

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～水俣市立袋中学校での実践～



【芦北教育事務所】

【講座のテーマ】

SNSの使い方を見つめ直そう



【アイスブレイク】



【SNSに関する〇×クイズ】



【自己診断】



【子どもの主張への返答を考える】

【講座の日程等】

実施日：令和5年7月14日（金）

場 所：水俣市立袋中学校

日 程：5校時（14：00～14：50）

対 象：袋中学校 第2学年 18名、保護者

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

SNSは使い方によっては便利でもあり、また、危険性も伴うことを理解し、日頃の自分のSNSの利用の仕方を見つめ直したり、親の立場になって考えたりする活動をとおして、安全で正しい利用につなげることをねらいとした。

【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
 - ・かさなったらパン ・絵から見え方の違い（雰囲気づくりと、受講するにあたっての心構え）
 - ・バースデイチェーン（3人のグループづくり）
- 2 SNSに関する〇×クイズ（SNSの危険性について、知識の確認）
- 3 SNSの使い方を見つめ直そう
 - ①ワークシートで自己診断（各種SNSの利用状況と興味、関心について）
 - ②ある親子の会話から（子どもの主張へ返答を考える、お互いの主張がぶつからないように）
 - ③考えた内容をもとに役割演技
 - ④納得する方法の考察
- 4 まとめ

【生徒の感想】（一部抜粋）

- 〇講座をとおして、SNSに対する親の思いなどがわかった。今までは、スマートフォンがほしいと親に言っても、だめだといわれてきたが、その理由がなんとなくわかった。もしこれからSNSを使うときは、気をつけて使おうと思った。また、きちんと親の意見と意見を聞こうと思った。
- 〇自分が思っていた以上にSNSというのは怖いもので使い方を考えないといけないことがわかった。親がSNSに写真などの個人情報をおけるとだめだというのは、私のことを考えて言ってくれていると知ることができた。これからは、SNSの使い方には、十分注意して、楽しく使っていきたい。
- 〇親と子でSNSに対してどんな気持ちの違いがあるのかを知ることができた。また、親がどんな心配をしているのかがわかり、ちゃんとルールをつくることにも意味があると感じた。